

東京大学先端研と
内閣オリパラ事務局が
協力して開催

どうして ぼくらは生きづらいのか――

“自分の生きづらさ研究”のプロ

お呼びしました。

大学における「心のバリアフリー」ワークショップ企画
『大学 meets 当事者研究』

障害のある人、ない人、そして
人気沸騰！パラリンピック競技のアスリートも一緒に、
専門家の手ほどきを受けて、
『当事者研究』（自分自身の生きづらさの研究）
をみんなでやってみよう。

開始前に会場周辺でボッチャ体験会実施中！

日時： 11月23日(水・祝) 14:00～17:00
(ボッチャ体験会は13:00～13:45)
場所： 東京大学 駒場IIキャンパス先端研4号館2階講
堂・3号館207・3号館307
応募方法： 事前登録が必要です。裏面を参照ください。



ボッチャ

※上記のイメージは、自閉症スペクトラムの方の当事者研究の事例：親しい人の顔になるほどよく見ているので情報が増えて細分化が進み、パーツの寄せ集めになる。たまに全体像を引きで見ると急に「誰！」と不安になる。

概要

- 東京大学先端科学技術研究センターと内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局が協力して開催。
- 2020年東京大会のレガシーとして、幅広く大学において、学生や大学関係者等に向けた「心のバリアフリー」の取組が展開されるよう、本年度、象徴的なイベントを開催。
- パラリンピック競技のアスリートを含む障害者、オリンピックを含めた健常者が混じり合い、各人の困り毎の理解及び解決に向けたワークショップを実施することで、自己理解や相互理解の促進を図る（「当事者研究」のプログラムをベース）
- 参加者：約100名

プログラム

*一部変更の可能性がります

(13:00~45) ポッチャ体験会 <内閣官房担当>

*会場周辺において実施していますので是非、プログラム開始前にお立ち寄りください！

13:30 受付開始

14:00 開会のあいさつと趣旨説明

14:05 ユニバーサルデザイン2020中間とりまとめの紹介等 <内閣官房担当>

14:15 第1部 苦勞のエキスパートたちによるアイス・ブレイク

- 当事者研究とは（向谷地生良氏）
- オリンピアン当事者研究（小磯典子氏）
- 自閉スペクトラム症の当事者研究（綾屋紗月氏）
- 薬物依存症の当事者研究（上岡陽江氏）
- 子どもの当事者研究（展示）

15:00~15:25 第2部 分かち合い①

15:25~15:35 休憩・移動

15:35 第3部 分科会

- 分科会1:能力主義と競争原理の生きにくさ（上岡・小磯・熊谷）
- 分科会2:コミュニケーション障害ってなんだ？（綾屋・福島・森村）
- 分科会3:駆け込み当事者研究（向谷地・浦河べてるの家）

16:25~16:35 休憩・移動

16:35~17:00 第4部 分かち合い②

17:00 終了

応募方法

- メールに以下の件名及び内容（①~⑥は必須、⑦は任意）を記載の上、申込用アドレスまでメールをお送りください。
 - 件名：【傍証希望】11/23ワークショップ
 - 本文：①氏名（フリガナ）、②所属名（学部名等）、③介助者の有無、④電話番号、⑤メールアドレス、⑥「第3部分科会」でグループワーク形式による当事者経験の体験を希望するか否か（希望するor希望しない）、⑦その他（情報保障の必要性から手話通訳等が必要な場合にはその旨ご記入ください）
- 申込用アドレス：oriparaud2020@cas.go.jp 宛てまで御連絡ください
- 応募締切：平成28年11月10日

※ 御提供いただいた個人情報、本ワークショップ参加者の把握及び事務連絡の目的以外には使用いたしません。

※ 申込が多数の場合は、大学生（院生）及び大学関係者を優先とした上で、抽選とさせていただきます。抽選の如何に関わらず、参加できる方に対しては、11月14日までにメールでお知らせいたします。

※ ご参加にあたっては、当日身分証明書にて確認させていただきますので、学生証等をお持ちください。

※ 複数名で参加される場合には、それぞれ参加申込をお願いいたします。

※ 今回のような取り組みが全国の大学に広まっていくよう、本イベントの様子をメディアを通じて発信する予定です。応募に関しては、当日メディア取材が入ることをあらかじめご承知おきください。また、カメラに映りたくない場合や、取材に応じたくない場合にもご参加いただけますので、受付にてその旨をお知らせください。